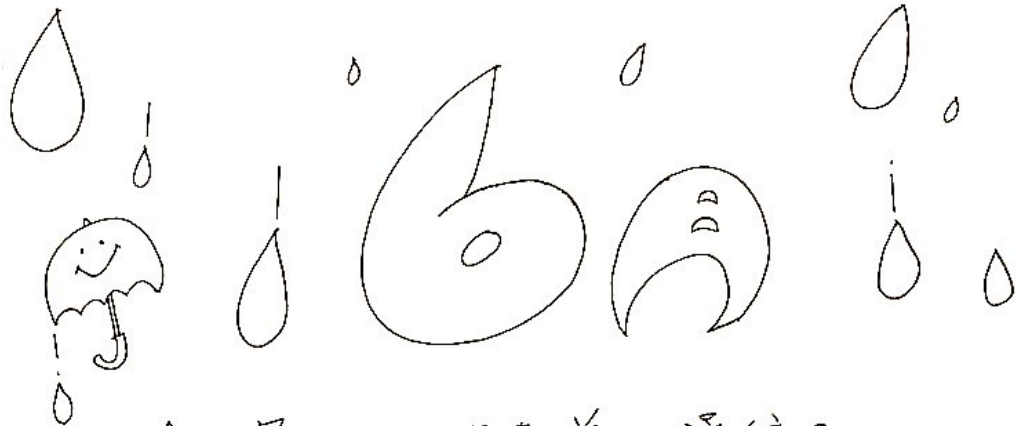


とよたち美肌通信

6月号 vol.155





今月号のとみたち美肌通信の
表紙は、

大きくきれいに咲いたあじさいは
仲よしなカタツムリが雨の目を楽しんで
いる絵です。

ヒョアをひく事や、バレーボールをする事が得意で、
おいしいごはんを食べる事が好きな
女の子が描いてくださいました♡
ありがとうございませう

院長はじめ

スタッフ一同

心より感謝いたします。



患者に塗り薬を正しく塗ってもらふ事は
患者に飲み薬を正しく飲んでもらう事より
難しいものである。話は脱線するが、真相は
不明だが、看護師から坐薬を渡された老人
が座った状態で水と共に内服した、との話を
聞いたことがある。いずれにしても薬とりのものは
正しく使用されないケースは少なからず存在し、事ぬり
薬に関しては内服よりもその化傾向は強かろうと推
測できる。

トレントやトピックでも外用の基本は一日二回であ
る薬剤が多い。これを一日一回の夜入浴後になっ
てしまう。誰でも朝は忙しく外用の時間がとれない。
これが最大の理由で、ごもともである。何せ煩
わしいのである。

そこでふと思ったことがある。人生において
とかく重要な事とは全てにおいて面倒かつ煩
わしい事が殆んどであるのではないか。
逆に容易く安易に成せる事というのは 然程
重要な事は少ない気がする。

そこで最近言われている 朝の外用例を一つ
紹介する。対象となる年齢による所はあるが、
親が朝寝所に起こしに行った際、未だ「夢現
の極めておぼろげな状態の段階で」サッと
塗ってしまうのは有効な一法である。
患児を持つ親御様にはぜひ試して欲しい例
である。

院長, 持